

【資料】

『部落解放研究』 目録

編集部

1号(1994年)

仏教と部落解放運動の結節点	小森 龍邦
「内観の世界」を知る	平田美知子
親鸞との出会い	藤井 勝之
「報正寺・過去帳差別記載」への取り組み	城山 大賢
ダーナ・インターナショナル・センターの活動	定光 大燈
カンボジアを通して見えたこと	友国 義信
「忌」を問い直す	
—現在の「忌中」「年忌」の背後にどのような歴史が積み重ねられてきたのか	小武 正教
部落史研究と宗教の課題	正木 峯夫
宗教と部落差別—キリスト者として	小野 一郎
「中国新聞社『黒舟にのった広島人』記載における過去帳閲覧問題」の 取り組み経過	

編集部

編集後記

2号(1996年)

広島部落解放研究所創立25年を振り返って	本庄 盛
解放理論の今日的課題—部落差別・解放運動・解放理論	小森 龍邦
特集「部落解放と国際連帯」	
私たちの活動から	藤原 ミラ
ニューカマーとしてのさせられた認識	安 錦珠
「在日外国籍児童生徒の進路保障の取り組み」—松永小学校	野田 泰洋
広島的女性と外国人	水越 紀子
日系ブラジル人と地域社会	坪田 典子
新来外国人と日本人の態度—広島調査を中心として	青木 秀男
「儒教的思想」と浄土真宗	坂原 英見
編集後記	編集部

3号(1997年)

小特集1 社会啓発の地平

反差別＝解放の主体形成と社会啓発

－「正しい知識の提供」を越えて

大庭 宣尊

現場からの報告－町づくりと同和行政・社会啓発

白根 美穂

解放行政の一課題－職員研修制度を通して

笹尾 省二

近代と部落差別－広島市A町を事例として

青木 秀男

揺れるエスニック・アイデンティティ

－エスニック・アイデンティティ再構築過程の分析

坪田 典子

小特集2 アジアと歴史

軍隊慰安婦と公娼制度－韓国人・元軍隊慰安婦の証言をもとに

福留 範昭

「満洲」移民政策に見る民族差別

水越 紀子

(翻訳) 1930年代日帝の朝鮮人満洲移民政策研究 劉 願淑 訳：安 錦珠

編集後記

4号(1998年)

特集 今 なぜ蓮如論

巻頭言

広島部落解放研究所 宗教部会部会長 小森 龍邦

特集 蓮如を巡る対談

稲城・小森対談 蓮如の果たした役割

玉光・小森対談 蓮如をどこから視るのか

福嶋・小森対談 蓮如の評価を巡って

論文 蓮如論－わたしの視点

「蓮如論」抄

小森 龍邦

蓮如、その信心の歩み－御文章2－II管見

円日 成道

親鸞・蓮如論

城山 大賢

蓮如の「如」を問う

長坂 公一

「拝啓 蓮如上人様－御文章への返信」

杵築 宏典

蓮如を巡る問題点

蓮如上人に向き合うための予備的考察

沖 和史

蓮如における女人往生論と性差別

岩崎 智寧

蓮如の女性観に端を発して

平田美知子

平井清隆氏の蓮如生母説の批判的検証

満井 秀城

蓮如に学ぶ現代の課題

真宗信心の実体化とその問題点－職業的宗教家としての蓮如像

毛利 勝典

現代における「王法・世法」考

坂原 英見

蓮如五百年法要を考える－「如来より賜わりたる信心」への誤解

山名 孝彰

東西本願寺の「蓮如上人五百回遠忌法要」を蓮如の視座で問う

－「平座」と「講」と「一向一揆」

小武 正教

世俗化と国家信仰—プレスナーの理論にそって
編集後記

神戸 修
編集部

5号(1998年)

小特集 部落解放と部落解放研究

部落解放と広島部落解放研究所の今日的課題 小森 龍邦

人権擁護推進審議会の正体と欺瞞 県連理論委員会 教育・啓発部会

人権擁護施策推進法と審議内容の危険性 岡田 英治

確認・糾弾会の時間と空間 亘 明志

日常の「語り」と非日常の「語り」の出会いと葛藤

—(島根県)「H市土木事務所職員差別発言事件」の確認・糾弾会に参加して

森嶋 吉美

「歴史に学ぶ」—享保の触れ書きを読む

政平 智春

小特集 現代の危機と思想状況

象徴天皇制の〈金銭〉問題 天野 恵一

日本人元戦犯の供述書と三光作戦—「記憶の暗殺者」集団批判金子マーティン

中国遺棄毒ガス被害者をむかえて 新中 正晴

現代アメリカの黒人問題とアンダークラス論争—一つの検討 青木 秀男

編集後記

編集部

6号(1999年)

部落解放運動の現状と研究所活動への提言

小森 龍邦

テーマⅠ 君が代強制に抗して

高校教育現場では 平野美優樹

広島・教育への政治介入の本質

—「日の丸・君が代」の不合理性が全国へ、守りぬいた内面の自由

岡田 英治

テーマⅡ 解放理論の批判的構築

歴史に学び、今何をなすべきか 政平 智春

部落解放運動における、「ケガレ論」の位置づけ 小武 正教

テーマⅢ 差別意識のレトリック

対抗する規範と結婚忌避正当化の言説 野口 道彦

差別への動機付与をめぐるポリティクス

—ある授業記録の分析をとおして 大庭 宣尊

テーマⅣ 歴史イデオロギー批判

歴史的事実を直視して 金 賛汀

自由主義史観という妖怪 青木 秀男

研究部会／活動報告

啓発部会／教育部会／歴史部会／宗教部会／国際部会

編集後記

編集部

7号(2000年)

巻頭言

編集部

テーマⅠ 政治状況と解放理論

部落解放運動における歴史認識

小森 龍邦

三命題の統一的把握と今後の運動

政平 智春

政治状況と宗教

— 「国家神道」復活へ向け、政治・保守勢力の蠢動

小武 正教

テーマⅡ 新来外国人とイエ問題

韓国人妻の意味世界—家族意識をベースに

安 錦珠

「まなごし」への抵抗・その生活価値

— あるフィリピン人妻の語りを素材として

水越 紀子

テーマⅢ 現代の政治と社会から

ドイツ—タブーを破る力

森嶋 吉美

日本の野宿者—構成と労働

青木 秀男

資料解題

「福島町の近代史」作成へ向けて—聞き取り調査から

笹尾 省二

特別報告

広島部落解放研究所設立三〇周年に寄せて

河野 官

研究部会／活動報告

啓発部会／宗教部会／国際部会

編集後記

編集部

8号(2001年)

巻頭言

解放運動の人間像への序論

小森 龍邦

特集 解放理論の批判的構築に向けて

シンポジウム「今、部落差別・部落史および部落解放を考える」

コーディネーター

松根 鷹

パネラー 寺木 信明／小森

龍邦

部落史研究をめぐる方法的メモ—いくつかの疑問

青木 秀男

教科書攻撃から見えてくるもの

石岡 修

差別・同化・沖縄人

野村 浩也

近代への転換期の差別意識の位相の一考察

山名 洋通・小早川銀宗

小林一茶の世界—被差別者を見つめるいのちの闘い

田坂 英見

真宗大谷派の宗風をめぐって

長坂 公一

研究部会／活動報告

歴史部会／宗教部会／国際部会

9号(2002年)

状況を超えて

今日の思想状況と研究所の課題

小森 龍邦

民族抑圧の構図

イスラエル・パレスティナ問題によせて

－非対称的な力関係での「土地」と「人」を、巡る攻防

奥山 真知

反動行政の虚妄

今、問われている人権教育－三次市吉岡広小路市長の大いなる錯覚森嶋 吉美

近代部落の軌跡

軍港の発展とともに形成された近代初頭からの被差別部落の歴史 小早川銀宗
教育研究の課題

同和地区児童・生徒の学力の連続と断絶－小五から中三への追跡調査から

村澤 昌崇

宗教観と人間観

対談 煩惱と差別

コーディネーター

小武 正教

パネラー 信楽 峻麿／小森 龍邦

資料紹介

広島の在日一世の聞き取りから

安 錦珠

研究部会／活動報告

宗教部会／歴史部会／教育部会／国際部会

編集後記

編集部

10号(2003年)

現代と人間

一 研究所紀要第十号にあたって

小森 龍邦

二 対談「国家を問う－浄土の回復」－わたし自身の人間回復の橋

パネラー 金 泰九／玉光 順正／小森 龍邦

グローバリゼーションの諸相

一 廃品回収に生きる人々－グローバル都市と野宿者

山口 恵子

二 グローバリゼーションと外国人労働者

－外国人労働者をめぐる理論的諸課題

青木 秀男

被差別の諸相

一 フィリピン女性とフェミニズムに関する一考察

－語りの生活世界を事例として

水越 紀子

二 同和地区児童・生徒の低学力要因の検討

－家庭の生活実態と自尊感情に着目して

久保田真功

被差別の歴史

水に苦しみ、水とともに生きた力	政平 智春
研究部会報告	
歴史部会／教育部会／宗教部会／国際部会	
編集後記	編集部

11号 (2004年)

紀要発刊に寄せて	中島 敏彦
研究活動のために	
きびしい差別状況に研究者としてどう取り組むか	小森 龍邦
小特集 沖縄の現実から	
沖縄の生徒のパーソナリティと学力の関連性	西本 裕輝
アメリカンをめぐる社会的課題	
一国籍、市民権と教育権保障運動	野入 直美
教育と差別	
義務教育関係現場における差別事件生起状況	香渡 清則
宗教と差別	
本願寺派教団の従軍布教活動と民族差別	野世 英水
研究部会報告	
教育部会／宗教部会／国際部会	
編集後記	編集部

12号 (2005年)

現代の人権と政治	
「人権擁護法案」にみる反人権性	岡田 英治
現代の人間の条件	
勝ち取ることの背中－野宿者支援における「代行」の引き受け	山北 輝裕
煩惱論	小森 龍邦
広島のエスニシティ	
広島県の外国人の居住動向－統計資料の分析を中心に	伊藤 泰郎
マイノリティー〈在日韓国人一世〉の福祉の現場で	安 錦珠
現代世界の真実	
現代の妖怪－テロリズムの解剖	青木 秀男
解放理論への問い	
山本政夫研究、その問題意識	山本 真一
研究部会／活動報告	
教育部会／宗教部会／国際部会／広島近代部落研究会	
編集後記	編集部

13号 (2006年)

特集 現代社会の差別と排除

部落のフリーター—貧困の固定化、排除の蓄積
 晴眼者か盲人か—「どっちつかず」を生きる

妻木 進吾
 秋風 千恵

部会論文

広島教育の荒廃—その実相に迫る
 戦争をめぐる中日仏教徒の呼びかけと応答
 サントニーニョと千羽鶴

秋光 民恵
 野世 英水

—広島のフィリピンコミュニティに関する予備的考察
 広島における地下壕と朝鮮人労働者

高畑 幸

—ドキュメンタリービデオ「土の記憶」フィールドノート

伊藤 園美

編集後記

編集部

14号 (2007年)

差別と解放の近現代

研究ノート 1930年代山本政夫の思想

—『融和事業研究』論文を中心として

山本 真一

宗教と社会

神戸 修

結婚差別の構造—「親戚の忌避」と「世間の忌避」

齋藤 直子

朝鮮人の被差別部落への移住過程—広島市の地区を事例として

伊藤 泰郎

反戦への道

日本国憲法「改正」と戦争への道

坪田 典子

悶死と散華の間—戦没学徒の意味世界

青木 秀男

編集後記

編集部

15号 (2009年)

部落差別の実態と研究

戸籍謄本等不正取得事件と身元調査根絶の闘い

山下 真澄

人権課題の認知状況とその規定要因に関する一考察

—大崎上島町の人権意識調査から

伊藤 泰郎

マックス・ウェーバーの歴史分析—部落問題研究に向けて

藤田 成俊

アイデンティティと抵抗

アフター・コミュニティ? アフター・アイデンティティ?

—在日朝鮮人のアイデンティフィケーションの批判的考察

文 貞實

植民地沖縄におけるネオリベラリズムと反抗

—ヤンキー・サブカルチャーズ研究序説

打越 正行

宗教と人間

わが心のふるさと—良寛

平田美知子

調査報告

大学における人権学習履修状況調査から見えること
編集後記

瀨上 和俊
編集部

16号 (2010年)

部落問題研究の展開

広島県における部落解放運動の経緯—その行政闘争の側面を辿る 小森 龍邦
部落解放教育における今日的課題としての進路保障 井上寿美・笹倉千佳弘
他者のまなざし=部落はどう見られてきたか

—部落ディアスポラ論序論

笹川 俊春

被差別部落の文化の研究—方法序説

青木 秀男

被差別部落と教育に関する「定説」の批判的検討

—いわゆる部落学校と権力 (のテクノロジー)

小早川明良

民族問題研究の課題

在日一世女性の高齢者福祉問題

—広島市西区福島地区の通所介護施設の事例より

安 錦珠

編集後記

編集部

17号 (2011年)

部落解放の運動と研究の提起

体制に絡め取られていく部落解放運動

—新自由主義と融和主義攻撃の中で

岡田 英治

「同和対策審議会答申(同対審答申)」研究のための覚書(1)

藤田 成俊

統制と周縁化

暴走族をめぐる排除の論理

—ゼロトレランス政策はいかに広島市の暴走族排除に適用されたのか

打越 正行

軍都広島 of 「娼妓」たち—明治期の新聞記事から

水越 紀子

在日フィリピン人社会の現状分析

—第一世代の加齢・高齢化と新日系人の流入を中心に

高畑 幸

外国人に対する寛容度の規定要因についての考察

—接触経験とネットワークの影響を中心に

伊藤 泰郎

資料紹介

中国人と日本人にみる「歴史認識」の差異について

—中国の高等学校歴史教科書を中心に

弘中 政義

編集後記

編集部